

## 第7回検討会の意見とその対応

ページ及び項目等 (第7回検討会資料)	意見及び方針(案)への反映
① 全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章表現を統一すること。</li> <li>→文章の最後は基本的には「～する」という形に統一。</li> <li>→すべての項目で文章の並べ替え。(教育委員会、学校、部活動顧問の順にする等、修正。)</li> <li>→「子供」をすべて「生徒」に統一。</li> </ul>
② p.4 3・(1)活動方針の策定と年間指導計画・年間活動実績等の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動計画と活動実績の項目内容は同一とする。</li> <li>→作成する活動実績について、( )を削除。</li> <li>・「活動実績」のホームページ等への掲載はない方が良い。</li> <li>→ホームページ等への掲載について「活動実績」を削除。(国のガイドラインの表記と合わせた。)</li> <li>・学校評議員会(第三者機関)は修正すべき。</li> <li>→「学校評議員等を活用し」に修正。</li> </ul>
③ p.6 4・(1)適切な指導の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4番目の○、「部活動顧問」は「運動部顧問」としても良いのではないかと。</li> <li>→運動部と文化部を含めた対応としているため、このまま。</li> </ul>
④ p.7 5・(1)中学校 ①学期中の休養日<基準>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「平日に少なくとも1日以上」の「以上」を取っても良いのではないかと。国のガイドラインに合わせた記載をすべき。</li> <li>→週当たり2日以上以上の休養日を設ける。(平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日は少なくとも1日以上を休養日とする。)国のガイドラインp.5参照。</li> </ul>
⑤ p.8 p11 5・②中高:学期中の活動時間<基準の設定理由・考え方>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動調査の、土日の活動時間は活動なしも含めて4時間までのパーセンテージを記載したほうが、考え方として相応しいのではないかと。</li> <li>→中学校・高等学校ともに修正。p.8 p11参照。</li> </ul>
⑥ p.13 6・(1)生徒のニーズを踏まえた部活動の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1番目の○、生徒が主体の部活動であるため、趣旨は分かるが、実際には新しい部活動の設置については難しいため、「学校の実態を踏まえる」、「部活動の設置の機会をつくる」等の文言を入れた方が良い。</li> <li>→「校長は、運動・スポーツの苦手な生徒や障害のある生徒等でも、友達と楽しんだり、適度な頻度で行ったりする運動部の設置や、文化芸術に親しむ部の設置等、学校の実態を踏まえた上で、生徒の多様なニーズに応じた活動を行うことができる部活動の設置を考える機会を設ける。」と修正。</li> </ul>
⑦ p.13 6・(3)保護者の理解と協力・地域との連携等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1番目の○、「部活動顧問」を「校長」とし、学校全体で取り組むという方向性で記述してはどうか。また、重複しているニュアンスが強いため、文章を再考した方が良い。</li> <li>→「保護者の理解と協力は、部活動の運営上欠かすことができない大切なことである。このため、日頃の活動を見てもらう環境づくり等も必要であり、校長は、部活動の意義や学校としての方針を保護者に示し、理解を得る。」と修正。</li> <li>・2番目の文章は1番目の○との文章と重複しており、削除した。</li> </ul>